

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.56



第9回武蔵町 人権フェスティバル開催

12月4日(土)、人権のまちづくり武蔵部会では地域に密着した取り組みを目指して、町内のこども園・保育所・小・中学校や地域のコーラスグループ、隣保館及び各行政区の発表を武蔵中央公民館で行い、みんなで人権について考

えました。行政区からは志和利区と小城区が人権ふれあい行事について発表しましたので、その様子を紹介します。



▲ कोरो・アザレアの皆さんによるコーラス



▶ たくさんの方が集まったフェスティバル会場



志和利区発表者
森 茂樹さん

志和利区は、戸数57戸で農業中心の集落です。農作業が一段落した毎年秋に人権学習会に合わせ「ふれあいスポーツ大会」を開催しています。

昨年度は午前8時から108人が参加して人権学習会を開催しました。学習テーマは、同和問題についてです。内容は、小・中学校の歴史及び公民の教科書の記述を知り、このように学習している子どもたちに対して、私たち大人は何をすべきなのかについて共に考えました。この学習会を通じて、区民同士がふれあいを重ね、これらを大切に温めていく中で差別に気づく感性を身につけ、差別を許さない人間になることができるものと思っております。

続いて「ふれあいスポーツ大会」です。子どもの数は多いとはいえませんが、なかなかనికిやかです。プログラムが進むにつれて、大き

「第4回国東市隣保館まつり」こころの川柳応募作品
カチカチに凍った心 すぐ折れる
いつまでも みんなともだち なかよしだ
国東町 福井 登志也
武蔵町 花田 渚紗

な声援の中、白熱した競技が展開されます。毎年のことですが、「玉入れ」が特に盛り上がります。お年寄りがより活動的になります。お父さんに抱っこされて参加する幼児の姿やお年寄りから競技の手ほどきを受ける児童の姿が見えたり、とてもほほえましいです。これこそが、お互いを思いやり、人権の大切さを共有できる取り組みの一つと考えます。

これからも志和利区の大切なイベントとして、未永く続けていかなくてはならないと改めて思いを強くした一日でした。



小城区発表者
成原 美治さん

小城区では「営農部会」「環境部会」「交流部会」と3つの部会を作って平成18年度から活動しています。交流部会は年3回「村中ごもり」「小夜の夜まつり」「グラウンドゴルフ大会」を実施し、区民の福利厚生部分を担っています。今年も各行事ともに天候にも恵まれ、楽しく親睦を深めることが出来ました。

大会終了後の表彰式では、入賞者が毎年入れ替わるため、どよめ

きと拍手と笑い声が絶えません。また、「小夜の夜まつり」は武蔵夏の夜まつりの前日に行われ、皆の気分は最高潮です。今年から新たにカラオケ大会を組み入れ、おおいに盛り上がりました。帰郷している区民の親戚の方はもちろん、最近転居してきた方がこの「小夜の夜まつり」に顔を出してくれ、とても喜んでくれました。また、本当によかったと思ったのはお祭りが終了してから、特に指示もなく皆が片づけを始めてくれたことです。役員に任せただけでなく、自ら動く姿勢が子ども、大人、男女関係なく一人ひとりの気持ちの中にあるのだと感じました。

これからも、各部会を通じ一人ひとりがお互いを思いやるとともに責任を持っていくことが小城区の将来、そして住みよい地域づくりにつながっていくと思います。

お知らせ

☆人権ビデオ上映会(隣保館)

テーマ 個人情報と人権

1月17日(月)午前10時〜12時

☆同和問題学習会(隣保館)

テーマ 学校内の現状

1月20日(木)午後2時〜4時

問い合わせ 国東市隣保館

☎0978-68-1172